

まきよう通信

2013.
秋号

Kobe Pharmaceutical University Press Vol.157



【特集】キャンパスの中のオアシス

薬用植物園の歩き方

まきよう便り 岩川 精吾 副学長

研究紹介 連載第2回

「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」 ～臨床薬学研究室～

研究室探訪

薬化学研究室／機能性分子化学研究室

神薬ごよみ 〈MANABI白書・Event Report・Information〉

キャンパスライフを彩る学生街 OKAMOTO MAP

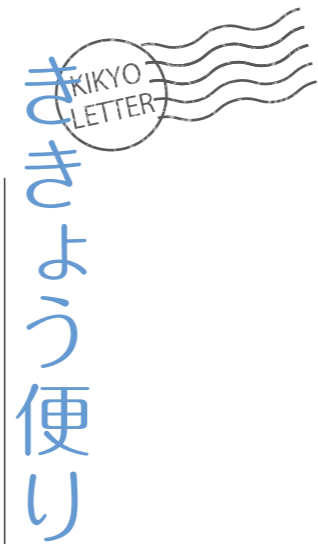
薬学力を鍛える 卒後研修の取り組み・エクステンションセンター

表紙探訪：図書館



神戸薬科大学

KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY



学生支援と生涯研修支援の 更なる充実を目指して

本年4月より、北河修治新学長のもと新たな年度がスタートいたしました。入学時の学生支援から卒業後の生涯研修支援にいたるまで、教職員一同協力してより良いサービスが提供できるよう、一層の努力を重ねてまいります。

現在3号館1階にある学生支援センターは、2008年に、これまで分離されていました教務課と学生就職課を一体化し、入学時から卒業時まで、両課職員が連携して、学生の皆さんを学習、生活、就職のすべての面において、トータルに支援するために設置されました。これにより、学生の皆さんは入学時から、授業科目の登録、各種証明書の申請、インターンシップへの参加、就職相談などすべてのサービスを同じオープンカウンターで受けることができるようになりました。クラス担任制と合わせ、よりきめ細かな支援が可能になったのではないかと思います。

2015年度からは新しく改訂された薬学教育モデル・コアカリキュラムによる教育もスタートする予定です。今回の改訂では、卒業後の薬剤師像を明確にし、それを実現するための新たなプログラムが加わります。医薬の急激な発展、高齢化社会といった状況の中、薬学士としての卒後研修もますます重要となってきております。本学のエクステンションセンターにおける卒後研修プログラムは、質と量の両方において誇るに足るものです。今後も本学同窓会と連携し、より充実した多様な生涯研修プログラムを進めていく所存です。



薬剤学研究室 教授
学生支援センター長

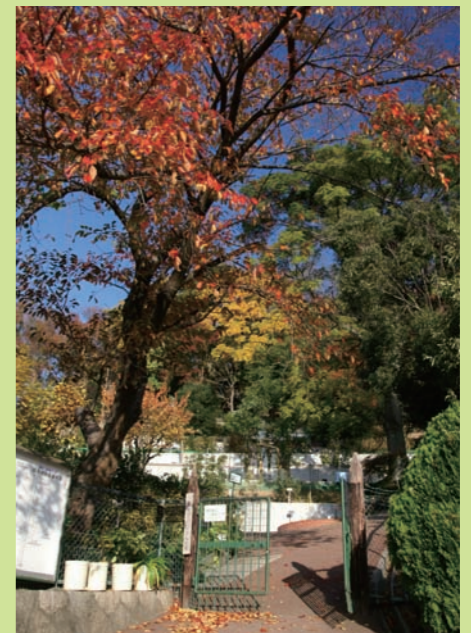
岩川 精吾 副学長

〔特集〕 キャンパスの中のオアシス

薬用植物園の 歩き方

キャンパスの西北部、標高100mの六甲山系の山すそに神戸薬科大学薬用植物園があります。段々畑状に配置された植物園には、温室の植物を含めると、約1,000種の薬用植物が栽培されており、生きた教材として「生薬学」などの授業や実習において利用されています。

本特集では、薬用植物園の取り組みを通して、教員や学生の研究活動に関心を持っていただけるような情報をわかりやすくお届けします。



Vol.157 contents

- 1 ききょう便り 岩川 精吾 副学長
- 2 特集 薬用植物園の歩き方
- 5 研究紹介 連載第2回 「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」
～臨床薬学研究室～
- 7 研究室探訪 薬化学研究室／機能性分子化学研究室
- 9 神薬ごよみ(MANABI白書)
- 11 神薬ごよみ(Event Report)
- 13 神薬ごよみ(Information)
- 14 研究機器紹介(共焦点レーザー顕微鏡)
- 15 OKAMOTO MAP
- 17 部活動レポート 硬式テニス部／茶華道部
- 19 大学生生活ニュース
- 21 法人会計決算の概要／法人会計予算の概要
- 25 「薬剤師を鍛える」エクステンションセンター
- 26 表紙探訪 図書館／学生支援センター 学生就職課より

薬用植物園の歩き方

薬用植物園の写真は
ホームページから見ていただくことができます

検索 神戸薬科大学 薬用植物園

薬用植物園を歩こう

薬用植物園について

大阪湾を一望できる見晴らしのよい環境に神戸薬科大学はあります。その学内にある薬用植物園は、1965年に薬科大学薬用植物園設置基準による教育・研究用施設として開設されました。山の斜面を生かして作られた段々畑の見本園には日本薬局方*収載生薬の薬用植物を中心に、漢方薬・民間薬・染料・香料および食料などに用いる有用植物や有毒植物が植えられています。

たとえばよく知られているチョウセンニンジン・イカリソウ・オウレンなどが植えられており、学生・教職員の教育や実習・研究などに利用されているほか、学外の教育・研究機関と種苗交換などの研究活動、貴重な薬用植物資源、野生植物の保護にも積極的に取り組んでいます。

また冷室を併設した新温室では、熱帯・亜熱帯地方の植物のほかに高山帯や寒帯地方でしか見ることのできない珍しい薬用植物を実際に見学することができます。バナナやパパイヤなども実をつけ、訪れる方の目を楽しませてくれます。

※ 日本薬局方 … 日本国内で医療に使用される医薬品の情報が記載された公定書。

植物園と遊歩道、展望台。 楽しみ方はそれぞれ

管理室には図鑑や植物関係の書物、植物園で栽培されている植物を撮ったスライドもあり閲覧することができます。またすべての植物に、用部や用途などを書いた立て札があり、薬用植物に詳しくない人でも楽しめます。

園の北側の斜面には、キハダ・トチュウなどの薬用樹木を自然林のように植えた遊歩道があり、歩きながら見学することができます。また、園内にある展望台から眺める神戸の街や大阪湾の風景は絶景で、学生や教員、研究職員の散策に利用されているほか、一般にも開放され、教育・研究・社会貢献の場としてはもちろん、「憩いのオアシス」として周知されています。



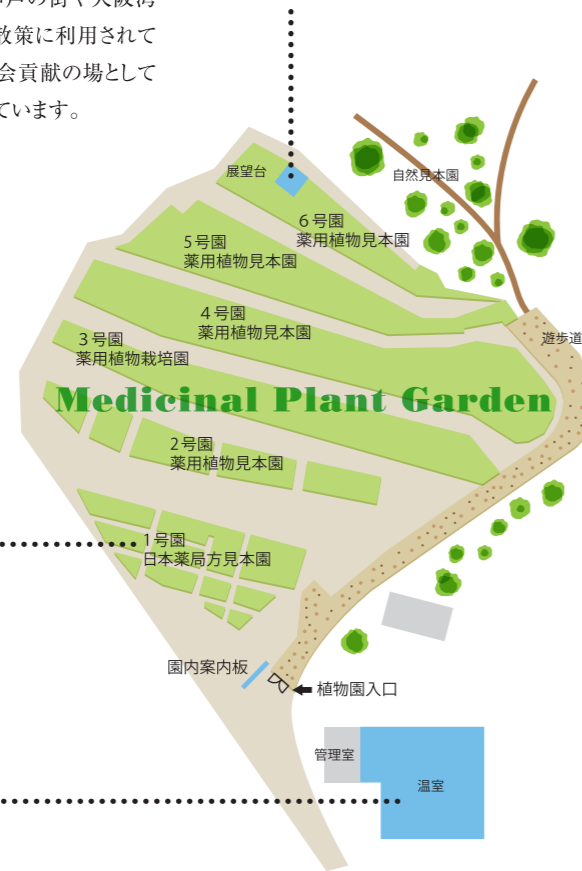
日本薬局方に収載の約100種が栽培される重要な園。



冷室を備えた温室では熱帯、亜熱帯の植物や寒冷地、高山の花を楽しむことができます。



6号園に併設された展望台。大阪や神戸、芦屋の街を一望できます。



秋から冬にかけて訪れる鳥たち

季節の移り変わりとともにやってくる、さまざまな鳥や蝶、昆虫などの生き物も見所の一つです。



メジロ



ルリビタキ

植物園の取り組み

植物園を維持すること・植物園の仕事

薬用植物園を構成する植物は、園芸植物ではなく野生種です。自然界でも絶滅に向かう植物を人間の手で育てることは、非常に難しい仕事です。本来野生種は、自然環境では他の植物と共存しています。例えばオオバコは、畑に単体で植えてもすぐ弱ってしまいます。足で踏まれ、雑草に囲まれる混生環境でなければ育たないからです。しかし、生態や特徴がわかるように、見本園では単体で植え、育てなければなりません。

自然界で存在するものは「自然界の自分の育つ環境」が適応環境です。植物園では、数多くある品種に対し、それぞれに適した自然界の擬似環境を作っています。落葉を加えたり、土・水・日照を対象の植物ごとに管理したりしています。また、高山植物を低地で育てる場合は、ただ自然界での環境に近い土を使うのではなく、湿度を考慮して、より水はけの良い土を選ぶなど工夫しています。このような栽培技術は、長年の経験でノウハウとして蓄積してきました。

そうやって人間の手によって作られた生育環境で育つ見本園の植物。四季を巡り、種を取り、枯らさないように、絶やさないように、サイクルを作り維持していく。それらを長くつないでいくことが植物園の仕事です。



神戸薬科大学 薬用植物園
沖 和行 課長

植物園の四季

秋



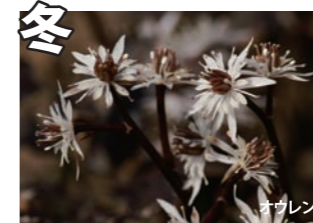
ゲンジョウコ

夏を乗り越え、花を咲かせたり、果実をつけたりと、散策にはもってこいの季節。

見どころ

- キキョウ** 本学の校章にもなっている咬止めの生薬。
- センブリ** 「良薬は口に苦し」の語源になった薬草。
- ゲンジョウコ** 六甲にも多く見られる健胃整腸の局方生薬。

冬



オウレン

植物の生態観察のチャンス。落葉の仕組み、冬芽や葉痕など、視点を変えて散策しよう。

見どころ

- モクレン** 冬のつぼみが鼻炎などに用いる辛夷(シンイ)という生薬に。
- マンサク** タンニンを多く含む。止血や下痢止めに。
- オウレン** 根に含まれるペルペリンは苦味健胃薬として。

春



アズ

モクレンやアズ、モモなどの薬用樹木から開花が始まる。園が最も華やか季節。

見どころ

- アズ** 種子の中にある仁(さね)を、生薬として鎮咳(ちんがい)・去痰(きよたん)に。
- ベニバナ** 古代染料として知られる。婦人病や冷え症に。
- イカリソウ** 根に含まれるペルペリンは苦味健胃薬として。

夏



コガネバナ

夏に太陽をたっぷり浴び根に養分を蓄える薬草は、この季節が見ごろです。

見どころ

- トウキ** 漢方では婦人病薬の主薬として処方。
- ウコン** カレー粉の原料としても知られる。
- コガネバナ** 消炎・解熱など多様な用途で処方。

幅広い観点から、薬と植物の関係を説く

薬の「基原*」のほとんどが植物であるように、植物にはさまざまな力があります。人類は経験からそれらを学び、衣・食・住、そして薬と、さまざまなかたちで生活に取り入れてきました。薬用植物園は、植物が色を持つ理由、山葵(ワサビ)や山椒(サンショウ)が「薬味」として食生活で使われる理由など、学生には薬学の視点から、一般の来園者には植物の視点からと、幅広い観点から植物の持つ力や魅力をお伝えしています。

※ 基原 … 生薬の元となる動植物の種類、使用部位、加工方法を表すもの。

TOPICS

神薬のど飴つくりました!



薬用植物園のアドバイスのもと、キキョウ、イブキジャコウソウ、カモミールそれぞれの素材そのままの色と優しい味が楽しめる「神薬のど飴」を、今夏から生協購買部で販売しています。のどのケアに、また「関西のおばちゃん」のコミュニケーションツールの一つとして、本学の「アメちゃん」はいかがですか?

利用案内

〔学生の利用〕

管理室に伝えて入園してください。希望があれば案内や説明もいたします。図鑑やスライドなどの閲覧を希望される方は係員に申し出てご利用ください。(貸し出しについては係員におたずねください。)

開園時間

平日 9:00～17:00
係員が不在の際は閉園している場合があります。

休園日

土曜、日曜、祝日、大学が定めた休日。
その他特別の行事などによって臨時に休園する場合があります。

〔一般の利用〕

開園日・開園時間でなければ見学できます。事前に電話(植物園)での申し込みが必要です。ただし、大学・係員の都合により見学できない場合もありますので、日程は係とご相談のうえご来園ください。



お問い合わせ

薬用植物園(直通) 078-441-7514
E-mail yakusyok@kobepharma-u.ac.jp

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発

神戸薬科大学は、優秀な薬剤師を養成する歴史ある大学であるとともに、高い水準の基礎研究活動を活発に行ってきました。基礎研究への取り組みが評価された一例として、2012年度より採択された「文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業-疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発-」を4回に分けて紹介します。今回はその2回目です。

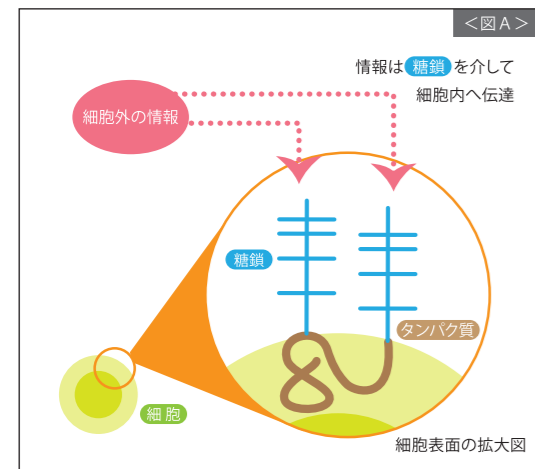
臨床薬学研究室 江本 憲昭 教授

遺伝子レベルでの基礎研究成果を臨床医学・薬学へと展開する研究(トランスレーショナルリサーチ)を実践しています。

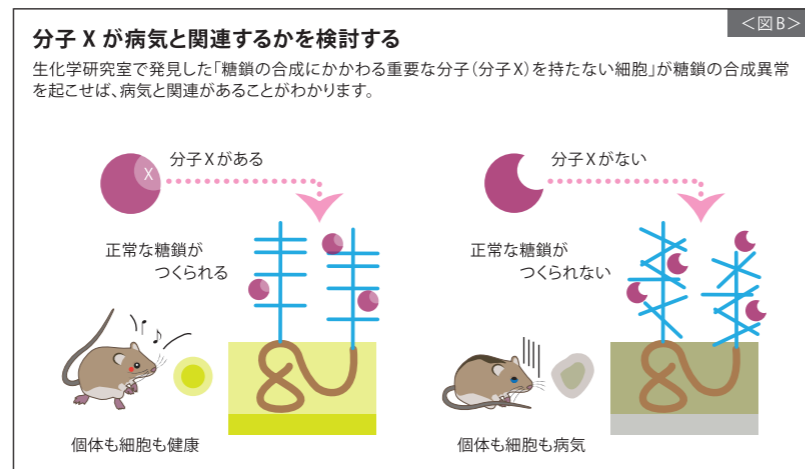
臨床薬学研究室のミッション「動脈硬化症予防」につながる芽を探れ!

文部科学省の支援を受けるこのプロジェクトで、江本教授をはじめ3名の医師を中心に構成されている臨床薬学研究室が取り組んでいるのは、「動脈硬化症」と「糖鎖」の関係です。

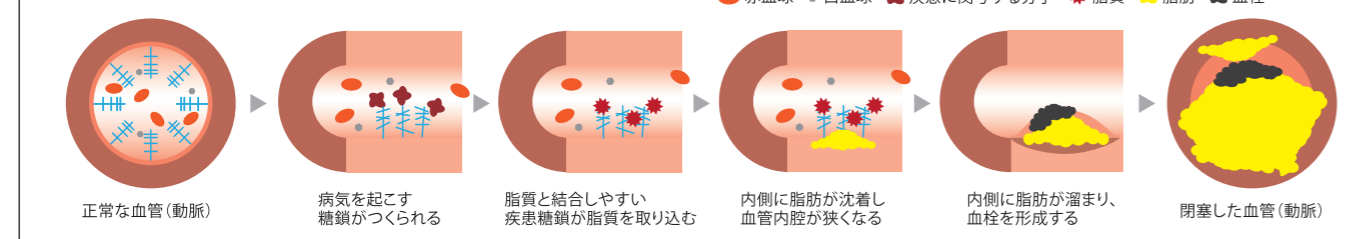
人間の細胞表面はまるでヒゲのように糖鎖に覆われています。その糖鎖は細胞外の情報を細胞に伝えるアンテナの役割を果たしていると考えられています。<図A>



そして糖鎖のアンテナが故障すると、病気の基になる何か細胞内に発生すると予想されます。臨床薬学研究室では、生化学研究室が発見した糖鎖合成酵素がマウスに与える影響を検証し、動脈硬化症予防につながる治療薬の芽をリサーチしています。<図B>



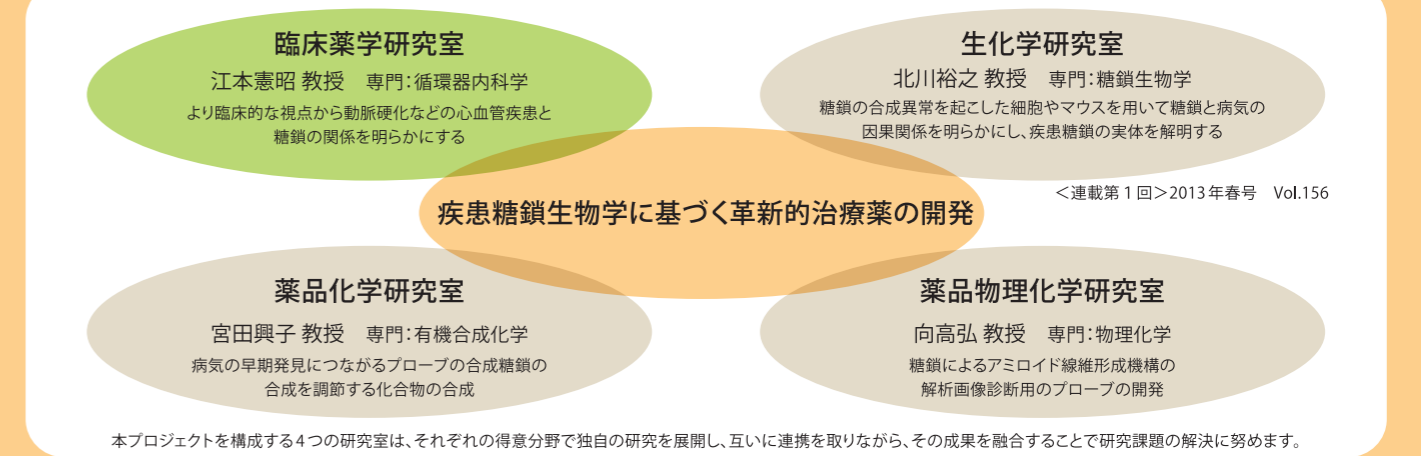
動脈硬化症の進行の様子



プロジェクトの目標

本プロジェクトの目標は、病気になるとつくられる異常な糖鎖(疾患糖鎖)が病気の原因である可能性や生活習慣病などの病気を発症させる背景になっている可能性を示すことです。「糖鎖疾患」という病気の新しいカテゴリーを構築し、このような疾患に共通する分子基盤を発見していくことで、疾患糖鎖が新規治療薬の標的となる可能性を基礎研究レベルで示すことを目指しています。

プロジェクト組織図



血管細胞の糖鎖を疾患発症の現象から見つめ、動脈硬化症の発症機構を探っています。

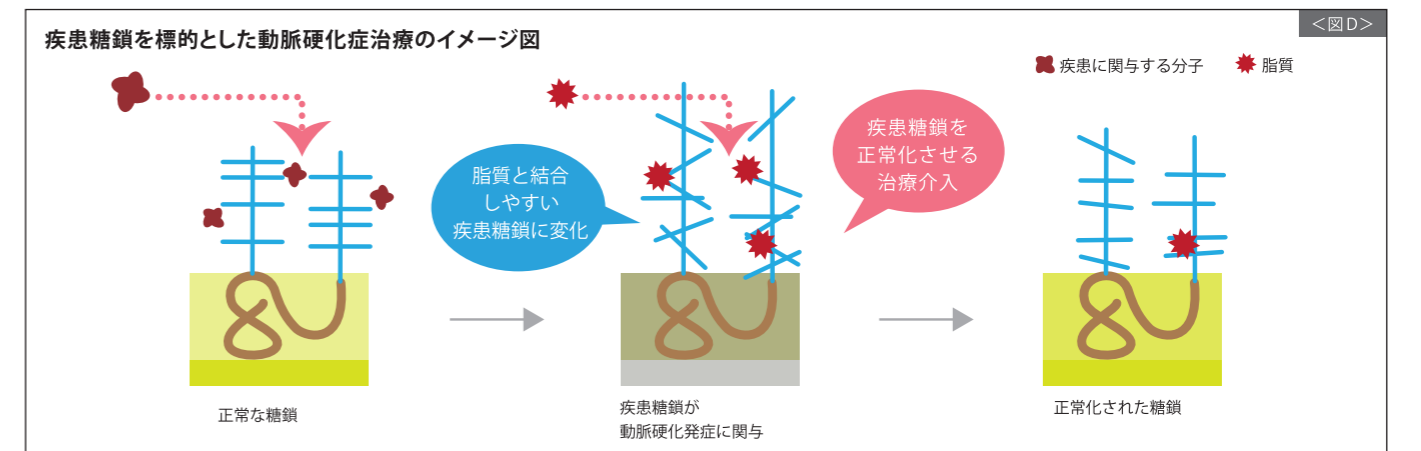
臨床薬学研究室 八木 敬子 講師

臨床薬学研究室は、血管の「糖鎖」に着目し、動脈硬化症の発症機構を明らかにする研究を行っています。動脈硬化症は、心筋梗塞などの心血管系疾患や、脳梗塞・脳出血といった脳血管障害の原因になります。<図C> 脳・心血管系疾患による死亡は、わが国の全死亡の約30%を占めていることから、早急な対策が必要です。しかし、残念ながら、現在のところ、動脈硬化症を直接治療する方法はありません。動脈硬化症を悪化させる要因である高血圧、糖尿病や脂質異常症といった危険因子のコントロールは、さまざまな薬によって可能となりつつありますが、依然として心血管疾患が増加している事実を踏まえると、動脈硬化症自体を標的とした新たな治療戦略の確立が急務と考えられます。

脂質と結合しやすい「糖鎖」に変化するのではないかとわれています。実際、我々の研究室で、動脈硬化症を発症させたマウスを調べたところ、動脈硬化症が進行するに伴い、「糖鎖」が長くなることが確認できました。また、生化学研究室が明らかにした糖鎖の合成にかかわる酵素が、マウスの動脈硬化でも働いていることがわかりました。つまり、動脈硬化症は、病気を起こす糖鎖(疾患糖鎖)により引き起こされる疾患であり、血管の「疾患糖鎖」を健康なときと同じ「糖鎖」に戻せば、血管自体を治療できる可能性があるのではないかと考えています。<図D>

現在、我々は生化学研究室が樹立した糖鎖合成酵素の遺伝子改変マウスに動脈硬化症を発症させ、糖鎖の合成異常が疾患にどのような影響を与えるかを検証しています。動脈硬化症と疾患糖鎖の関係を明らかにし、将来的には、高血圧、糖尿病や脂質異常症といった危険因子の有無にかかわらず、動脈硬化症の発症を予防できる、血管糖鎖を標的とした新たな創薬に向けて研究成果を蓄積しています。

「動脈硬化症がなぜ起きるのか?」は、完全には解明されていませんが、最近「貯留反応説」という考えがなされるようになりました。血管壁に脂質が溜まるのが、動脈硬化症の始まりだとするもので、脂質が溜まる鍵となるのが「糖鎖」ではないかと考えられています。「糖鎖」はもともと血管にありますが、動脈硬化症のきっかけとなる「糖鎖」は長さが長く、性質が変化して、



▶▶ 次回は「薬品化学研究室」の研究内容を紹介します

研究室探訪

新しいタイプの“carrier”を開発しています。

機能性分子化学研究室

[スタッフ] 中山 尋量教授 前田 秀子助教 林 亜紀助教
[学 生] 5年生:15名 6年生:17名



研究テーマは?

薬は単独で投与されることは少なく、さまざまな物質と複合化することによって、より有効に働くように作られています。このような複合化された物質を「carrier」と呼びます。私たちの研究室では、新しいタイプのcarrierの開発を行っています。

現在取り組んでいる研究内容は?

主な研究は、carrierによる薬の安定化です。例えば、制酸剤としても使用されているヒドロタルサイトとの複合化によって、薬の吸湿性や苦みの軽減を目指すというものです。ほかにも、シクロデキストリンと呼ばれるオリゴ糖との複合体による薬の溶解度向上や、溶解度向上を目指すための核酸関連化合物のリン酸化も行っています。

研究室での学生たちは?

研究室は明るく元気な学生で毎日にぎやかです。彼らは自主的にグループで頻繁に交流会をやっているようです。もちろん研究活動も熱心で、2週間に一度、ゼミで研究発表会を行っており、自らの進捗状況をパワーポイントを使って発表しています。

研究活動によって学生に期待することは?

最前線の医療現場で活躍されている先生からは、薬剤師に必要な力は、自ら問題点を見だし解決する能力だということを聞きます。研究活動を行うことは、まさしく、その能力を高めることなのではないでしょうか。



中山 尋量 教授



串本海中公園にて

ゼミ旅行へ行ってきました

8月8日～9日、和歌山県串本町へ1泊2日のゼミ旅行。年に一度の恒例イベントです。到着するなりパワフルに活動する、とにかく元気な学生たちとの一コマ。

本学には17の薬学専門研究室があります。どのような研究を行っているのかはもちろん、研究室の雰囲気や、学生たちが生き生きと学ぶ様子を楽しくお伝えします。

有用な生物活性天然有機化合物の探索と合成研究に取り組んでいます。

薬化学研究室

[スタッフ] 棚橋 孝雄 教授 竹中 由希子 講師 西村 克己 講師
[学 生] 5年生:15名 6年生:16名



研究テーマは?

高等植物や地衣類(菌類と藻類の共生生物)を素材として、有用な生物活性を持つ天然有機化合物を探索し、その構造決定、生物活性評価を行っています。さらに化学合成を行うことにより、化学構造と生物活性の関係を調べて最適化を行い、新たな有用物質を見いだすことを目指しています。

現在取り組んでいる研究内容は?

DNA代謝系酵素の阻害活性と、ヒトがん細胞の増殖抑制活性を指標に、タイ産薬用植物や地衣類から単離培養した培養地衣菌の成分検索を行い、その新規化合物の構造決定、活性評価、代謝経路について研究しています。これまでに蓮の胚芽のアルカロイドが中枢作用を持つことを明らかにしており、それら関連化合物の合成研究を行っています。

研究室での学生たちは?

天然物と合成のグループに分かれ、それぞれ目的に適した実験室や中央分析室の最新装置を利用して研究しています。また、テーマに関連した論文や最新の論文の勉強会、各自の研究結果の報告会も随時行っています。楽しい学生が多いからか、研究活動以外のイベントも活発です。

研究活動によって学生に期待することは?

研究活動は地道な作業が多いため、整理された合理的な思考や、問題意識を持って持続的に取り組む姿勢が大切です。これは、社会で薬剤師として、専門職人として活躍する上でも重要です。研究活動を通してそのような資質を養成できればと思います。また、その中で新たな発見の喜びを経験してほしいと願っています。



棚橋 孝雄 教授



ゼミ旅行の淡路島にて

イベントも 楽しい研究室です

年1回のゼミ旅行のほか、学生の企画によるゼミコンパ、夏のビアパーティー、野外のバーベキューパーティー、スイカ割り、誕生会などを楽しんでいます。

神薬ごよみ

キャンパスカレンダー(学年暦)と併せて、学内の今、そして、これからの取り組みを3つのコンテンツでお届けします。

MANABI白書

半期における各学年の学習や
実習報告をお伝えします。

Event Report

半期の主な学内イベントを
ご報告します。

Information

今後の行事を中心に、
学内外のニュースをお伝えします。

MANABI白書

2012年度 ベストティーチャー賞発表

ベストティーチャー賞とは、学生授業評価アンケートに基づき、FD*委員会が審議の結果選出される、当該年度の指導力を学生から評価された教員に与えられるアワードです。本年5月、7名の教員が選ばれました。

*FD……Faculty Developmentの略称。

教員が授業内容や方法を改善し、教育の質を向上させるために行う組織的な取り組み。

2012年度 ベストティーチャー賞

開講時期	教員	授業
1年前期	土反 伸和 講師	薬用資源学
1年後期	畑 公也 教授	ドイツ語Ⅱ
2年前期	北川 裕之 教授	分子生物学Ⅰ
2年後期	八巻 耕也 講師	薬理学Ⅰ
3年前期	中川 公恵 准教授	衛生薬学Ⅲ
3年後期	上田 昌史 准教授	有機化学Ⅵ
4年前期	玉巻 欣子 准教授	実用薬学英語Ⅰ

Best Teacher



土反 伸和 講師
授業 薬用資源学

ゆっくりと聞き取りやすい声で、 ていねいに授業を進めてくださる先生です

授業は、薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の性質を基礎から学ぶ、薬学の第一歩です。薬用資源となる植物の植物名や使用部位、薬効、薬用成分など覚えることが非常に多いのですが、教科書に沿って、パワーポイントを使いながら、復習を交えて授業を進めてくださるので、理解しながら覚えることができました。何より、話し方がゆっくりで、はっきりとした声が聞き取りやすく、授業の構成もわかりやすいなど、先生の授業スタイルそのものが勉強になりました。



1年生 竹永 駿輝さん

Best Teacher



中川 公恵 准教授
授業 衛生薬学Ⅲ

わかりやすくまとめたプリントが、 感染症に興味を持って勉強するきっかけになりました

主に感染症とその予防について学ぶ授業です。覚えることが多かったのですが、教科書をわかりやすくまとめたプリントを使用した授業だったため、自習時にも、それらのプリントを使って覚えることができました。感染症には、たくさん種類があり、今まで感染症名は聞いたことがあっても、その病原体、感染経路、症状については知らないことが多かったのですが、覚え方のコツなどを教えてくださったので、大事なポイントがわかり、興味深く学ぶことができました。



3年生 和田 諭可子さん

2

2013年度 前期の学習報告

1年生

本年より、初年次準備教育「化学」「物理」を実施

2013年度入学生から、学習支援「初年度準備教育」を実施。指定校制推薦入試入学者・一般入試中期で生物を受験し入学した学生(化学)、高校時代に物理を履修していない学生(物理)が対象です。薬学の専門教育科目を学ぶ基礎となる両科目をしっかりと身につけるための新しい取り組みです。

早期体験学習・初期体験臨床実習に参加

医療人としての自覚を早い段階から持つことを目的に実施している薬学準備教育。医療現場を体験する「早期体験学習」「初期体験臨床実習(神戸大学医学部連携)」に参加しました。

6月 早期体験学習発表会 P.12

9月 初期体験臨床実習 P.12

2年生

実習・実験が本格的にスタート

生命体の組織観察や有機化合物の合成・分離・精製といった初歩的な実習・実験が本格的にスタート。ハイレベルな専門科目を学ぶための基礎となる「物理系薬学」「化学系薬学」「生物系薬学」などの領域の授業など、専門知識の基礎固めが始まりました。

3年生

本学ならではの6年一貫の英語教育。 第2ステージ「薬学英語」へ

習熟度別クラスで学んだ英語学習を終えて、「薬学英語入門」の授業が始まりました。医療や薬学などを中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎的な知識を深め、理系英語の初歩的な技能と運用能力を身につけます。

4年生

後期にある「薬学共用試験」合格へ向けて実務実習事前教育に取り組む

5年生から始まる長期実務実習に備えた実務実習事前教育がスタート。薬剤師業務の実際を講義・実習・演習形式で受講、医療機関や薬局の薬剤師も指導に加わり、薬学臨床教育センターを利用した臨場感ある講義でした。具体的には、模擬症例による処方せんに基づく調剤や院内製剤の調製、模擬患者への服薬指導、医薬品情報の解析などのシミュレーション実習や、小グループに分かれてのスマイルグループディスカッションを取り入れた、協調性・積極性・コミュニケーション力やプレゼンテーション力の育成など。後期は「薬学共用試験」、いよいよ試験本番です。

薬学共用試験については「大学生生活ニュース」P.12でも紹介しています。



PICK UP! 5年生

長期実務実習がスタートするとともに、それぞれまた研究室にも所属。卒業研究や就職ガイダンスが本格化するなど、卒業後の進路を意識する大切な時期を迎えています。

長期実務実習 ～ 病院・薬局実習を終えて～

他の医療スタッフの方とコミュニケーションを取りながら、個々の患者さまに応じた対応をすることや、相手を尊重しながら行動し、薬剤師として意見を述べることの難しさを知りました。そして、日々のやり取りの中で、チームや患者さまとの信頼関係が築かれていくことを、病棟の業務で拝見した薬剤師の先生の姿から学びました。また、疾患やその治療薬についての知識が必要であることも実感。薬理学や薬物治療学の授業のプリントを復習することもありました。ケモの混注*を行う際には実務実習事前教育で何度も練習した無菌調製(注射剤の調製)の実習が役立ちました。将来は病院薬剤師になりたいので、病院ならではのチーム医療を体験できたことがうれしかったです。

*ケモ(化学療法)・混注(複数の薬剤を混ぜ合わせて注射すること)。



5年生 城月 智帆さん

6年生

卒業研究の準備・国家試験受験の準備

卒業研究発表会に向けて、各自研究を深める一方、薬学演習の講義や実験コース強化セミナーで国家試験に向けて着々と準備を進めました。

Event Report

5月 MAY

がんプロ講演会

神戸薬科大学第2回がんプロ講演会を5月18日(土)、第3回を6月1日(土)に開催。「臨床研究・臨床試験」に関するテーマを取り上げ、臨床試験の現状、臨床試験開始から結果公表までの流れ、国内外における臨床研究・試験情報の登録制度や世界共通のデータ標準 CDISC* について、先端医療振興財団臨床研究情報センターの永井洋士副センター長をはじめ5名の先生方に講演いただきました。

*Clinical Data Interchange Standards Consortium
…国際的な臨床研究データ交換標準を提供しているNPO法人。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(がんプロ)は、本学・大阪大学・兵庫県立大学・和歌山県立医科大学・奈良県立医科大学・京都府立医科大学・大阪薬科大学で構成。各大学が特徴を生かして連携することにより、チーム医療を推進できるがん専門医療者を育成し、地域におけるがん医療の向上を図ります。

6月 JUNE

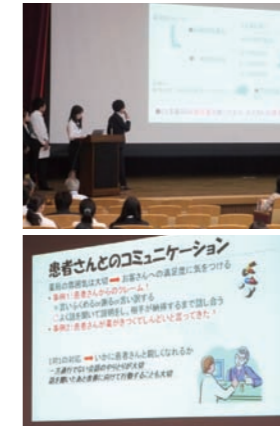
卒後研修講座

第39回卒後研修講座を5月25日(土)、26日(日)、6月2日(日)の3回にわたり開催しました。がんプロ(左記参照)に共催いただき、「がん治療最前線」をテーマに、がん研究や臨床の最前線で活躍されている先生方に講演いただきました。

今年度のトピックスとして3日目には、iPS細胞の実用化に最も近い研究者といわれている、京都大学iPS細胞研究所の高橋淳教授を招聘し「iPS細胞を用いたパーキンソン病の細胞移植治療」について講演いただきました。高橋教授は後日、講演時にお話いただいた「新しい治療法」について、早ければ来年度にも臨床研究の実施を国に申請する意向を明らかにされました。

早期体験学習発表会

6月22日(土)、1年生による早期体験学習発表会を開催しました。病院内の薬剤部を訪問したグループは、医師・看護師・栄養士と一緒に患者さまの治療に携わる「病院薬剤師の役割」についての発表や、保険調剤薬局を訪問したグループからは、患者さまへの服薬指導や、薬局間の情報交換、医師への患者情報の伝達など、あらゆる人とのコミュニケーションが求められる「薬剤師のスキル」について発表がありました。実際の職場で大学での学びが活かされていると実感したことを全体で共有しました。



8月 AUGUST

オープンキャンパス

8月3日(土)、4日(日)、17日(土)と10月5日(土)にオープンキャンパスを開催しました。在学生がサポーターとなり、高校生や保護者を案内したり、相談コーナーでさまざまな質問に答えたりと活躍し、オープンキャンパスを盛り上げてくれました。

本年度初の試みとして、進学説明会、相談コーナーに卒業生が参加。卒業後のキャリアを踏まえたメッセージを発信しました。毎年好評の予備校講師による入試問題解説など、本学ならではのプログラムにおいても、たくさんの高校生や保護者の皆さんにご参加いただき、今年度のオープンキャンパスは盛況のうちに終了しました。



進学説明会



相談コーナー

就職ガイダンス



キャリア教育講座
(左)竹内氏 (右)巽氏

第2回就職ガイダンス「キャリア教育講座」

第1部 Campus Radio「バンブー竹内の“聴くクスリ”」
テーマ「オリンピックアスリートとしての挫折、そして挑戦」
パーソナリティ 竹内 靖夫氏(文化放送アナウンサー)
ゲストスピーカー 巽 樹里氏(シドニー・アネズ輪
シンクロナイズドスイミング選手)

第2部 先輩薬剤師によるトークセッション

第3部 OB・OG薬剤師との交流会

第2回就職ガイダンスを8月19日(月)、第3回を20日(火)に開催しました。第2回は、5年生対象の「自己分析ワークショップ」と全学年対象の「キャリア教育講座」を3部構成で開催。第3部の「OB・OG薬剤師との交流会」は、学生が卒業生に積極的に質問し、将来の夢をかなえるためのアドバイスを受けるなど、真剣な中にも笑いが起こる和やかな雰囲気になりました。

翌日の第3回就職ガイダンスはすべて5年生対象。前年度採用実績報告を行った後の「職種紹介セミナー」では製薬メーカー、CRO・SMO(臨床開発職)、医薬品卸、調剤薬局(ドラッグストア薬剤師)、病院薬剤師、研修生・レジデントなどから講師を招き、代表的な職種の基本的な業務内容を紹介していただきました。



自己分析ワークショップ



職種紹介セミナー

9月 SEPTEMBER

初期体験臨床実習

1年生の興味・モチベーションの維持と勉学意欲の向上を目的に、神戸大学医学部(医学科・保健学科)と連携して実施しています。専攻の異なる両大学学生の混成チームで、スモールグループディスカッション・病院医療現場見学・レポートのまとめ・発表会を通して知識を深め、将来の医療において重要となるチーム医療の考え方を修得します。

参加学生からは、混成チームのメンバーと、グループワークや病院見学、談笑などを通して打ち解け合えたことや、ディスカッションでは、言いたいことを正確に伝えられ

ずにいた時、相手が理解しようとする姿勢で聞いてくれたことで、スムーズに意見交換することができたなど、チームのメンバーとのやりとりそのものが、チーム医療に必要な「コミュニケーション能力」の大切さに気づかせてくれたとの声がありました。

実際の医療現場で、混成学生チームの一員として交流を図り、共に現場のスタッフから学ぶことで、学びを共有し、今後の学習に対する意欲や主体性を強化することができた実習になりました。



夏休み子ども いろいろ体験スクール

8月22日(木)、神戸市東灘区との地域連携協定事業の一環として小学生向けのイベント「夏休み子どもいろいろ体験スクール」を開催しました。小学校3~6年生の62名が受講。テーマは「薬剤師のお仕事を体験してみよう!」で、実際に白衣を着用し、薬剤師業務である調剤体験やお薬交付、服薬説明を体験しました。終了後は、薬学臨床教育センター長 濱口常男教授が体験スクールの修了証を交付しました。



4月

- 2日 入学式
- 4日 前期開講日
- 8日 4・5年生インターンシップガイダンス
- 10日 5年生第1回就職ガイダンス
- 6年生病院ガイダンス
- 15日 5年生病院実習・薬局実習開始
(i期:4/15~7/15)
- 17日 6年生第8回就職ガイダンス
- 20日 6年生病院実習・薬局実習
(III・III・IV期報告会)
- 4・5年生「海外薬学研修」報告会
- 第14回公開市民講座
- 27日 第81回創立記念日

5月

- 13日 5年生病院実習・薬局実習開始
(I期:5/13~7/28)
- 18日 **第2回がんプロ講演会**
- 25日 6年生卒業研究発表会
- 25・26日 **第39回卒後研修講座(1・2日目)**
- 30・31日 6年生第1回国試模擬試験

6月

- 1日 第3回がんプロ講演会
- 2日 **第39回卒後研修講座(3日目)**
- 8日 全学年第1回キャリアガイダンス
- 9日 4・5年生公募制インターンシップガイダンス
- 21日 第6回シンポジウム
- 22日 **1年生早期体験学習発表会**

7月

- 6日 全学年ビジネス・マナー講座
- 8日 5年生病院実習・薬局実習開始
(ii期:7/8~9/29)
- 22日 前期定期試験(〜8/1)

8月

- 3日 夏季休暇開始
- 3・4・17日 **オープンキャンパス**
- 17日 5年生病院実習・薬局実習(I/I期報告会)
- 19・20日 **5年生第2回・第3回就職ガイダンス**
- 19日 全学年キャリア教育講座
- 22日 **夏休み子どもいろいろ体験スクール**
前期定期試験結果発表

9月

- 2日 5年生病院実習・薬局実習開始
(II期:9/2~11/17)
- 前期追再試験(〜9/6)
- 5・6日 6年生卒業研究発表会
- 9日 **1年生初期体験臨床実習(〜9/14)**
- 11・12日 4年生C B T体験受験
- 13日 **1年生初期体験臨床実習(全体発表会)**
- 18日 夏季休暇終了
- 19日 後期開講日
- 前期追再試験結果発表
- 26・27日 6年生第2回国試模擬試験
- 27日 学部秋季卒業式/大学院秋季修了式
- 30日 5年生病院実習・薬局実習開始
(III期:9/30~12/15)

10月

- 5日 **オープンキャンパス**
ききょう祭(P.19)
- 21日 4年生第3回CBT模擬試験
- 26日 全学年第2回キャリアガイダンス
- 3・4・5年生インターンシップ報告会・情報交換会

Information

ワークショップ参加報告

8月10日(土)、11日(日)の2日間、東京都内で開催された公益社団法人日本薬学会主催第3回全国学生ワークショップに参加しました。全国の6年制薬学部を持つ74大学のうち、70大学から6年生各1名ずつと、過年度の参加者18名の計88名が参加しました。私たちは現行の薬学教育の経験者として、今後の教育システムと薬剤師のあり方について議論しました。印象的だったのは、実習先での薬剤師の存在感が、他の医療従事者と比べて薄いと感じた人が多かったことです。このことから、薬剤師の職能を拡大させるために、まず自ら何ができるのかを主張することが必要不可欠であり、そのために薬学教育はコミュニケーション力を十分に養えるものであるべきだと結論付けました。私たちの経験が今後の薬学教育に生かされ、新世代薬剤師の輩出に貢献する日が来ることを切に願います。最後になりましたが、このような貴重な機会をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。



6年生 志田 美春さん

2013年後期 主な行事

キャンパス カレンダー

年	月	日	行事
2013	11月	9日	保護者懇談会 保護者のための就職ガイダンス
		16日	全学年第3回キャリアガイダンス
	12月	8日	4年生薬学共用試験 OSCE 本試験
13日		4年生第4回 CBT 模擬試験	
27日		冬季休暇開始	
2014	1月	3日	冬季休暇終了
		6日	5年生病院実習・薬局実習開始 (Ⅲ・Ⅳ期:1/6～3/23)
	14日	後期終講日	
	15・16日	4年生 CBT 本試験	
3月	1・2日	第99回薬剤師国家試験(予定)	
	2日	3・4年生海外薬学研修[ポストン] (~3/14)	
	28日	第99回薬剤師国家試験合格発表(予定)	

詳細はホームページをご確認ください。

2014年度 入試スケジュール

学部入学試験	出願締切日	試験日
推薦入学試験(公募制・併願可)	2013年10月25日(金)	2013年11月4日(月・休)
大学入試センター試験利用入学試験	2014年1月20日(月)	2014年1月18日(土)・19日(日)
一般入学試験(前期)	2014年1月22日(水)	2014年2月4日(火)
一般入学試験(中期)	2014年1月30日(木)	2014年2月11日(火・祝)
一般入学試験(後期)	2014年2月28日(金)	2014年3月9日(日)

出願締切日: 消印有効、窓口に持参の場合は翌日午後5時必着(土・日・祝日除く)

大学院入学試験	出願締切日	試験日
修士課程(薬科学専攻)一般2次・社会人特別選抜	2014年2月13日(木)	2014年2月22日(土)
博士課程(薬学専攻)一般2次・社会人特別選抜2次	2014年3月7日(金)	2014年3月15日(土)

出願締切日: 郵送の場合は書留便にて締切日必着

人事・受賞者・寄付金受納

(2013年10月末現在)

<人事>

- 退職
助教 井上 潤(医療薬学研究室) 以上 2013年5月31日付
主査 前中 仁(事務局 総務課)
- 採用
講師 土生 康司(情報支援室)
助教 堀部 紗世(医療薬学研究室) 以上 2013年10月1日付
- 異動
学生就職部 学生就職課 課長補佐 鶴木 英津子(教務部 教務課 課長補佐)
教務部 教務課 課長補佐 岡田 功(学生就職部 学生就職課 課長補佐) 以上 2013年10月1日付

<表彰>

- 2013年7月31日 教授 宮田 興子
平成24年度特別研究員等審査会専門委員表彰
- 2013年8月31日 助教 大山 浩之
日本臨床化学会奨励賞
- 2013年9月11日 助教 中山 和彦
PD Susi Heiden
研究生 Nicolas Vignon-Zellweger
研究生 Tran Van Hung
第13回国際エンドセリン学会若手研究者賞

<寄付金> 神戸薬科大学桔梗育友会 金一封

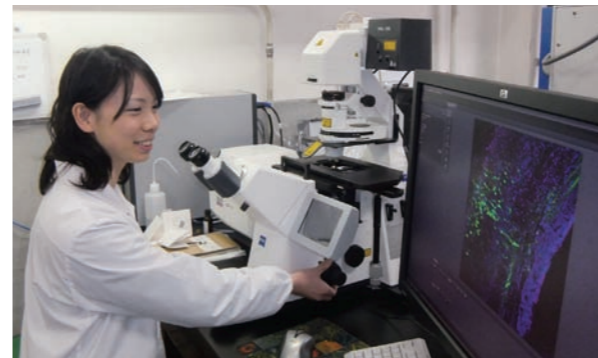
※学生の表彰は「学生の受賞・表彰」P.20で紹介しています。

研究機器紹介

共焦点レーザスキャン顕微鏡

共焦点レーザスキャン顕微鏡 (LSM 700 Carl Zeiss)

LSM700は、平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定された「医薬共同による創薬・育業を担う医療人の育成を通じた私立・国立大学間の連携」の取り組みにより獲得した補助金によって購入された大学の共通研究機器です。



きれいな写真が撮れることや飛行機などの操縦席を思わせる大掛かりな装置の外観から、一度は使ってみたいと思わせる魅力のある実験装置で、学部学生にも人気のマシンの一つです。

機器概要

神戸薬科大学には、カメラでも有名なCarl Zeiss社の最高スペックの共焦点顕微鏡が導入されています。顕微鏡にもいろいろな種類がありますが、共焦点顕微鏡の特徴を一言で言うと「美しい写真を撮影することができる顕微鏡」です。美しい画像は、実験データの説得力を増す効果があります。現在、多くの研究室が、さまざまなサンプルの観察に利用しており、この顕微鏡で撮影されたデータが世界の学術雑誌(ジャーナル)に掲載され、国内外の学会発表の場で使われています。

共焦点顕微鏡の主な特徴

- ◆ぼやけることのない明瞭な画像が得られる
- ◆細胞のような小さなものを高倍率で観察しても鮮やかな画像を得ることができる
- ◆光学的な切片画像を作ることができる
- ◆撮影した画像を積み重ねて3次元画像を得ることができるなど

共焦点レーザスキャン顕微鏡の使用例

①対象分子が発生過程で果たす役割を明らかにする

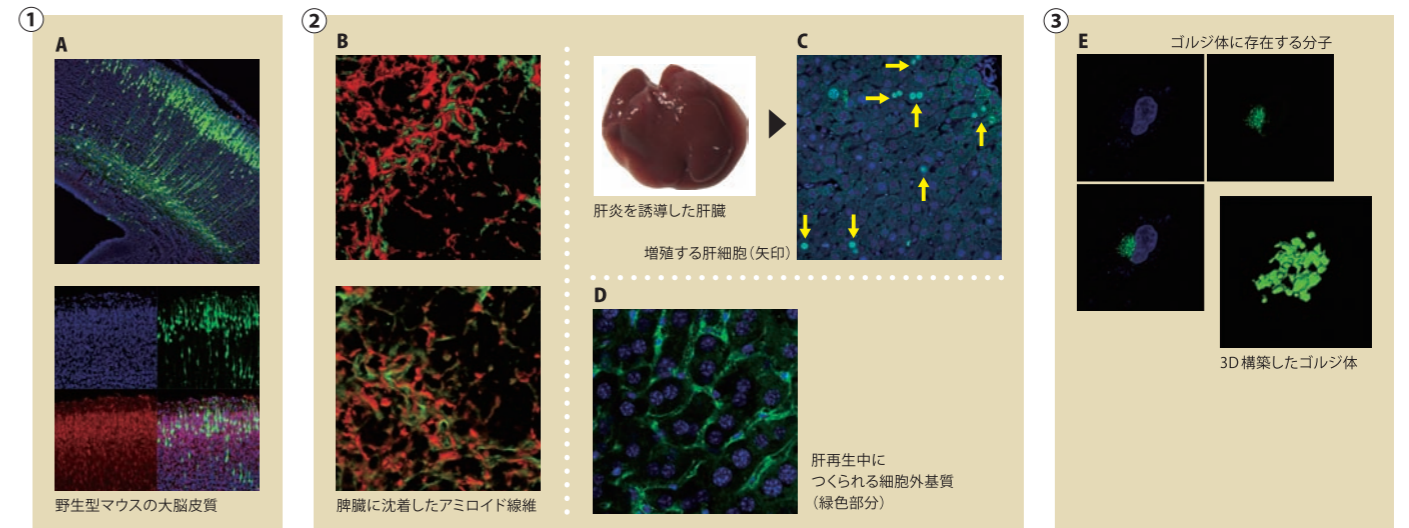
例えば、写真Aは胎仔(たいじ)マウス的大脑皮質に存在する神経細胞(緑色の細胞)を観察したものです。対象分子だけを欠損させた遺伝子改変マウスを作製し、野生型マウス(対象分子を欠損していないマウス)的大脑皮質と比較することにより、対象分子が神経発生に関与するかどうかを調べることができます。

②対象分子の病気との関わりを明らかにする

野生型マウスと対象分子を欠損させたマウスに病気を起こす処置を行い、病気の発症時期や症状の重篤度などを比較することで、対象分子の病気との関連を調べることができます(写真B～D)。また、これらの病態モデルを利用して、創薬に結びつくような化合物の薬効を個体レベルで評価することができます。

③対象分子の細胞内局在を明らかにする

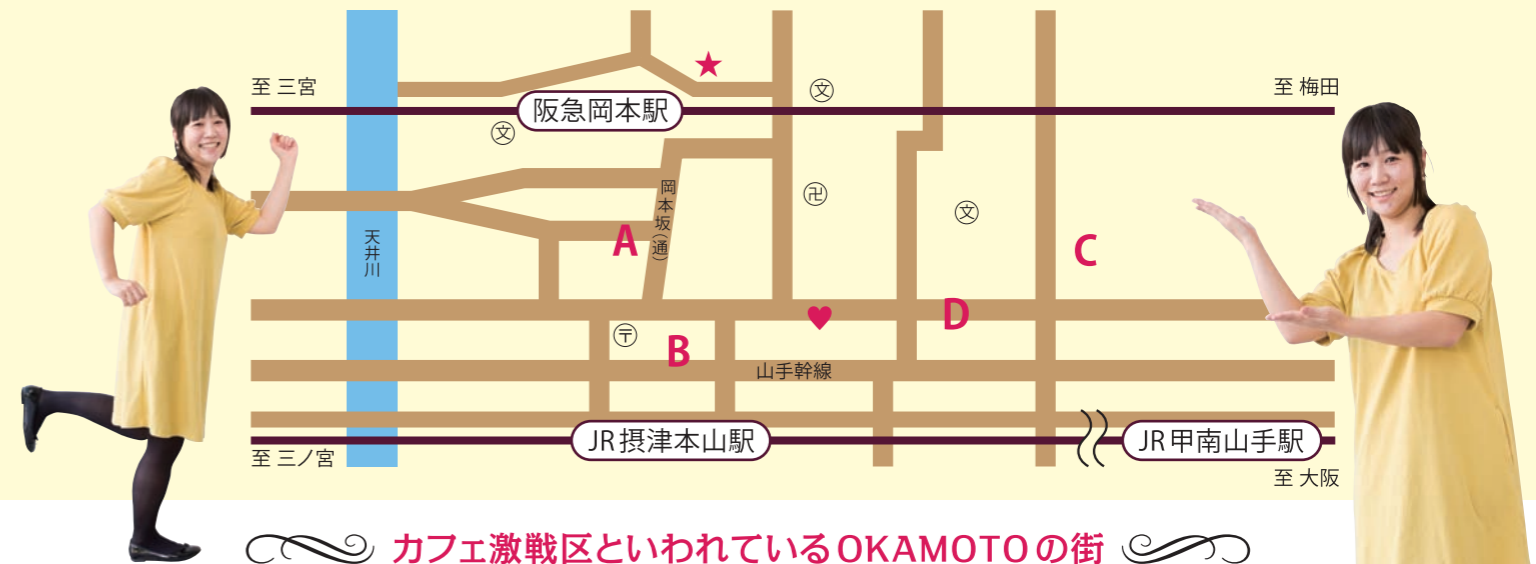
分子は、その働きに応じて細胞内の特定の場所に存在します。写真Eは対象分子がゴルジ体に存在することを示した写真です。



動物を用いた実験は「動物の愛護及び管理」に関する法律に準拠して行われています。

OKAMOTO MAP

本学の最寄り駅がある岡本は、古くから学生の街として知られていますが、昨今では、洗練されたおしゃれな街としても注目されています。橋上駅舎化・バリアフリー化を目指し工事が進む摂津本山駅の完成後は便利さも加わり、街の魅力がさらに高まっていきそうです。そんな岡本の街を教職員や学生がご案内いたします。



目的地を決めずに歩いてみよう。

薬学科5年 山田 英美さん

岡本の街は、『神戸本』のような雑誌に特集が組まれるほど、おしゃれなカフェや雑貨店がたくさんある神薬大のお膝元のような街。クラブ活動で知り合った、カフェ巡りが趣味だと話す他大学の友人たちを案内したこともあり。その一方で、昔ながらのそば屋や、学生には少し敷居の高い焼き鳥屋など、地元の人に愛されるお店もある楽しい街です。岡本坂を東西に少し入るだけで、新しいお店を発見することもあるので、目的地を決めずに、ひたすら歩き回るのが岡本らしいおススメの歩き方です。

★FARMHOUSE CAFE



タイミングが合わず、まだ行くことができない気になるお店。

山田さん お気に入りの OKAMOTO Picture



山田さん撮影▶

♥いしころカフェ

ソファ席もあつてくつろげます。スイーツに添えられるイラストがかわいくて、毎回ワクワクします。

神薬大に入学して

大学生活・勉強について

3年生までは毎日が授業で多忙でした。部活の練習で遅くまで残ったり、テスト前には友人と一緒に勉強したりと、大変でしたが楽しかった。4年生の実務実習事前教育、5年生の研究室配属と、学びが深まるたびに新たな友人が増えていきました。実験もあり、忙しいのは相変わらずですが、今は週末に出かける楽しみも増え、充実した毎日を送っています。

将来の夢・なりたい私

病院薬剤師になりたいと思っています。病院では多職種の人がチーム医療を実践されています。そのような現場で通用する薬剤師になるためには、薬だけではなく、病態や検査値などもさらに勉強しなければと考えています。これから始まる病院実習で、できる限り多くのことを経験して、なりたい夢をかなえるために、何をすべきかを学んできたいです。

カフェ激戦区といわれているOKAMOTOの街
2人がおススメするカフェ&スイーツのお店をご案内

OKAMOTO 案内人

教職員を代表して
岡本の街を案内します

薬学臨床教育センター
長谷川 豊准教授



一人でも、友人とでも
過ごせるお店を紹介します

薬学科5年
榎田 葵さん



A 休日に料理を作るときに使うパンはココ



DONQ 岡本グルメ館

しっかりした「フランスパン」が欲しいときに、立ち寄るのがこのお店。西欧料理にフィットしたパリッとしたパンの外側の焼きあがり、フランス人のパン職人がいるこの店ならではの。

C お庭があって落ち着くカフェです



マナーハウス モトヤマ

岡本の住宅街にある、和風の家を改装した一軒家のカフェ。お店にはお庭があり、とても落ち着きます。友人と一緒に、ゆっくりと時間を過ごしたいときに、利用しています。

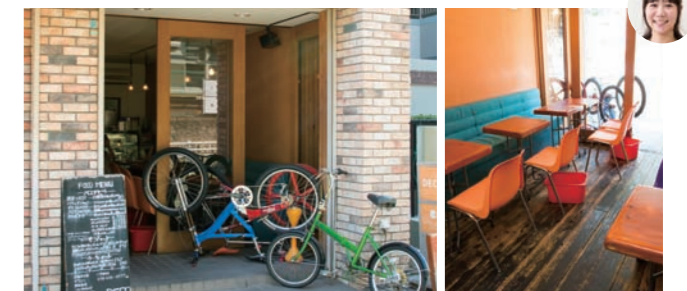
B 学内の「お茶うけ」は有名店のスイーツで!



ショコラリパブリック

阪神間の有名店。店内に高く積み上げられたフィナンシェをはじめ、洋菓子が定評です。テイクアウトをして、同僚や学生と学内でお茶をする際のお茶うけにおススメですよ。

D 毎週行っても飽きない週替わりパスタ!



DECO

実験がなく、午前中で授業が終わった日に行くことが多いお店です。岡本駅から少し離れた場所にあるのですが、女子学生に人気があるので、ランチタイムはいつも満員です。

充実した学生生活を送り、自らが主体的に考え行動するクラブ活動は、学年を超えた多くの学生との交流を深め、豊かな人間性を身につけることができます。「チーム医療」の一員としての自覚を養い、コミュニケーション力を磨くことができる有意義な場でもあります。ほとんどの学生が、勉学に励みながら、クラブ活動にも積極的に参加しています。

硬式テニス部

一致団結が強みのクラブ。目標達成に向け、日々練習に打ち込んでいます。



近年の試合日は実務と重なることが多く、今年も参加できなかったのですが、受賞の朗報を受けたときは、うれしかったですね。授業や実習に明け暮れる中での研鑽の結果に、とにかく学生をほめてあげたいです。

顧問
岡野 登志夫 教授



部長
3年生 福井 将人さん(左)
3年生 尾崎 絢乃さん(右)

楽天的なタイプが集う明るく楽しいクラブです。普段の練習では、自分を追い込むことでメンタルを鍛えるなど、目標達成に向けて懸命に取り組んでいます。テニスは個人戦に思われがちですが、実は団体競技と同じです。日々の練習によって自分と闘うことや、団結力が身についた私たちに「一致団結」という強みがあります。今夏もこれらの力を発揮し、好成績を収めることができました。次の大会では優勝に向けてさらに戦力を高めたいです。ですが、3年生が引退するため部員が少なくなります。今からでもテニスをやってみたいという方は、ぜひ入部してください。

ひとこと

関西薬学生連盟硬式庭球大会

1947年から開催されている歴史ある大会。会場は「テニスの町」といわれる石川県能登町の能都健民テニスコート。8月の炎天下のなか「一致団結」で挑みました。

戦績・活動報告

- 2013年 第67回 関西薬学生連盟硬式庭球大会 女子団体 3位・男子団体 5位
- 2012年 第66回 関西薬学生連盟硬式庭球大会 女子個人戦 優勝・女子団体 準優勝



「自分に厳しく練習していますが、みんな笑顔でいるところが好きです」(尾崎さん)



昨年に続き好成績を収めた女子チーム

活動内容

顧問 岡野 登志夫 教授 部員 13名

活動日：毎週火・木曜日

土・日曜日のいずれかで定期戦を行うこともある。

茶華道部

キャンパスに併設された歴史ある茶室で稽古しています。



ききょう祭にて



ご指導くださっている先生と学生の信頼関係が厚く、熱心に稽古をしていることもあり、学生の所作の美しさには驚くばかりです。

クラブ活動は、問題解決力も身につく、人間として幅広く学べる場。成長の糧にしてほしいと願っています。

顧問
多河 典子 講師



部長
2年生 三宅 里奈さん

茶道の稽古場は、キャンパス内にある茶室「修竹庵」です。歴史ある茶室を使えるぜいたくを味わっています。部員は、和気あいあいとした雰囲気の中、初心者も経験者も一緒に稽古しています。茶道を学ぶことで、人を尊ぶことや公の場での礼儀作法が身につきます。3年間稽古を続けると免状をいただくことができるので、目標を持って取り組みます。

ききょう祭でのお茶会は、毎年恒例のイベントです。一人でも多くの人に茶道の楽しみを知ってもらえるよう、今年もていねいな「おもてなし」を心掛けました。



修竹庵

【主なお道具】お茶碗：田中香泉作 黒仁清「琵琶」(黒)・色絵茶碗「熨斗」(白)/棗：宗春作 寿輪棗 / 茶杓：第12代大徳寺管長作「幾千代」/ 水指：草華紋平水指 (スペイン製)



ききょう祭のしつらい

活動内容

顧問 多河 典子 講師 部員 51名

活動日：毎週月もしくは金曜日

ききょう祭のお茶会

ひとこと

修竹庵(しゅうちくあん)

1941年、寄付により本学に移築され、1943年に完成した本式の茶室。完成以降、茶華道部の稽古場として今に至っています。

活動報告

他大学のお茶会参加

Snapshot ⇒ 「ききょう祭」

10/5(土) 2013年度 神戸薬科大学 大学祭「ききょう祭」を開催

10月5日(土)の朝9時より、大学祭「ききょう祭」を開催しました。当日は曇り空からのスタートで、時折、雨がちらつく空模様でしたが、大盛況の内に終了することができました。

お越しいただいた皆さま、ご協力いただいた企業の方々、近隣地域の皆さま、ありがとうございました。



「ききょう祭」報告

当日はなんとか天気持ちこたえてくれました。野外ステージのイベントは校舎内(6号館)に移動することになりましたが、学内にあふれるたくさん笑顔を見て、ききょう祭当日までがんばってきたよかったと思いました。

70名近い実行委員をまとめることは難しく、準備や話し合いがまとまらないこともありましたが、2年生が1年生をリードし、1年生が2年生に献身的に協力したことで、スムーズに動き始めました。実行委員を経験して、全体の進行状況を確認し支援するために、視野を広くもつことの重要性を学びました。そして、多くの仲間と出会えたことも、私の大きな財産となりました。

実行委員長 2年生 山崎 義仁さん

当日の行事

模擬店	9:00-14:30
ゲストライブ	清水翔太さん
イベント	9:00- 軽音・ダンス
	10:45- ダンス
	11:00- ちぐはぐカップル
	12:30- alttype(ダブルタッチ)
	13:15- ビンゴ大会
後夜祭	16:30-

ききょう祭のパンフレット



実行委員長 山崎さん



総勢約70名のききょう祭実行委員メンバー



Our Action

大学生活6年間の最初の難関!
「CBT」「OSCE」薬学共用試験合格に向けて

薬学共用試験とは、5年生で実施する長期実務実習「病院実習(11週間)」「薬局実習(11週間)」を履修するために必要な知識、技能および態度が備わっているかを評価する試験です。この試験に合格しなければ、長期実務実習に行くことができません。

薬学共用試験には「CBT」と「OSCE(オスキー)」という2種類の試験があり、4年生は、2013年12月～翌1月にかけて実施する両試験の合格に向けて、日々勉強しています。

薬学共用試験合格に向けた取り組み「実務実習事前教育」についてはP.10「神薬ごよみ 4年生のコーナー」で紹介しています。

CBT (Computer Based Testing)

知識および問題解決能力を評価する客観的試験。薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した310問の問題を3つのゾーン合計で6時間かけてコンピューター上で解答します。受験生ごとに異なった問題が薬学共用試験センターよりランダムに配信されます。

OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

技能・態度を評価する客観的臨床能力試験。薬学臨床教育センターで、模擬薬局・調剤室・演習室・講義室等を使用し、「患者・来局者対応、薬剤の調製(1)(2)、調剤鑑査、無菌操作の実践、情報の提供」の6つのステーションを順次巡回する形式で臨床能力を評価します。

NOTES

薬学共用試験 実施以来3年連続合格率100%を達成。2012年度薬学共用試験合格者数、合格基準はホームページで公表されています。



薬学臨床教育センター 調剤室

2013年前期 学生の受賞・表彰

学会や研究会などで研究成果を発表し、受賞を果たした学生を紹介します。



おめでとうございます

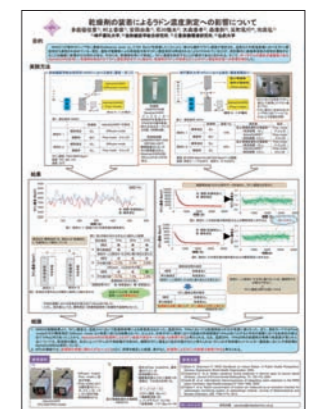
6年生 多鹿 優佳里さん
(薬品物理化学研究室)

日本保健物理学会
平成24年度学生研究優秀賞

研究題目
「大気中ラドン濃度：放射線施設における
監視システムの電離箱による測定」



日本保健物理学会第46回研究発表会優秀ポスター賞
研究題目「乾燥剤の装着によるラドン濃度測定への影響について」



おめでとうございます

D2 高瀬 ひろかさん
(薬品物理化学講座)

第86回日本生化学会大会
鈴木紘一メモリアル賞

研究題目
「生体分子との相互作用を介した
ヒト血清アミロイドAの構造変化」

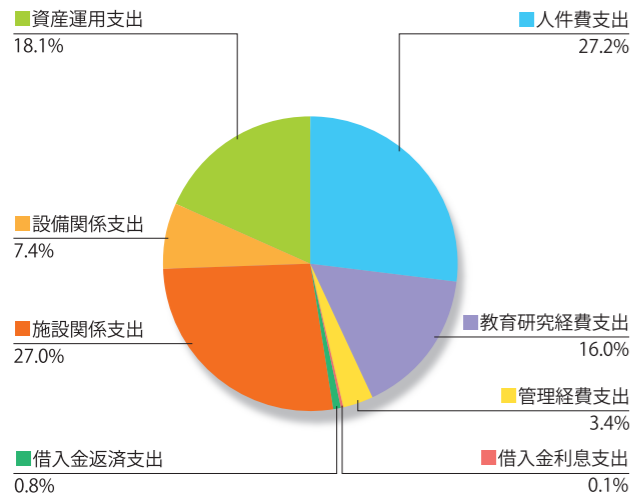
ほかに2名の学生が受賞いたしました

6年生 森田 淳子さん (生薬化学研究室)
第8回トランスポーター研究会年会優秀発表賞(ポスター)
研究題目「タバコNCS1トランスポーター Nt-T408の形質転換植物・培養細胞の作出と解析」

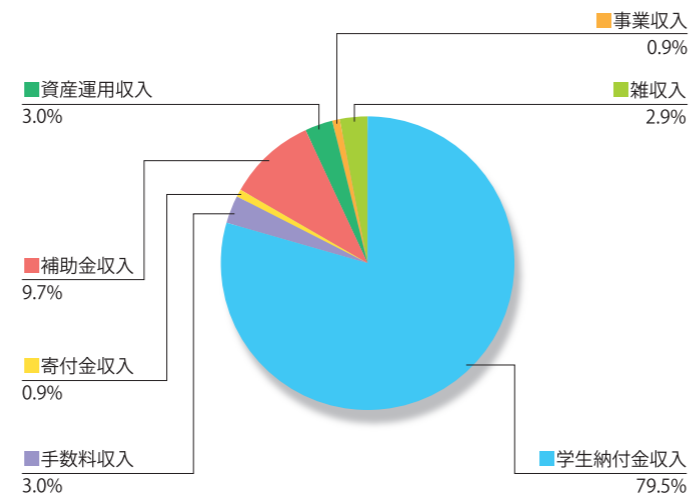
6年生 猪西 敏史さん (製剤学研究室)
第30回シクロデキストリンシンポジウムポスター賞
研究題目「シクロデキストリン誘導体の包接化によるレスベラトロールの皮膚取り込み改善」

おめでとうございます

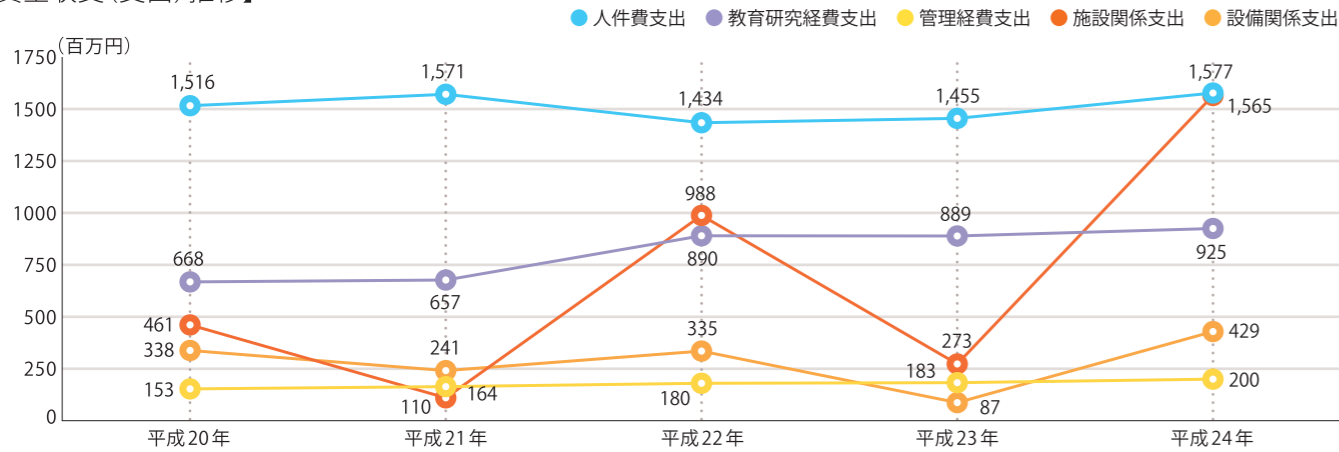
【平成24年度資金収支(支出)内訳】



【平成24年度資金収支(収入)内訳】



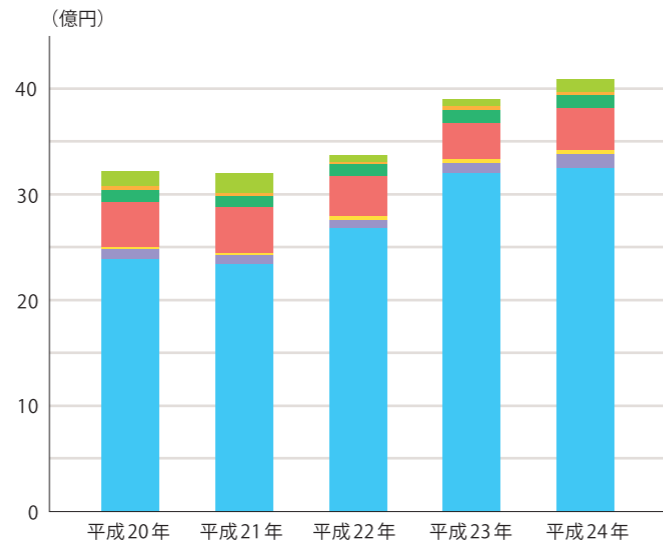
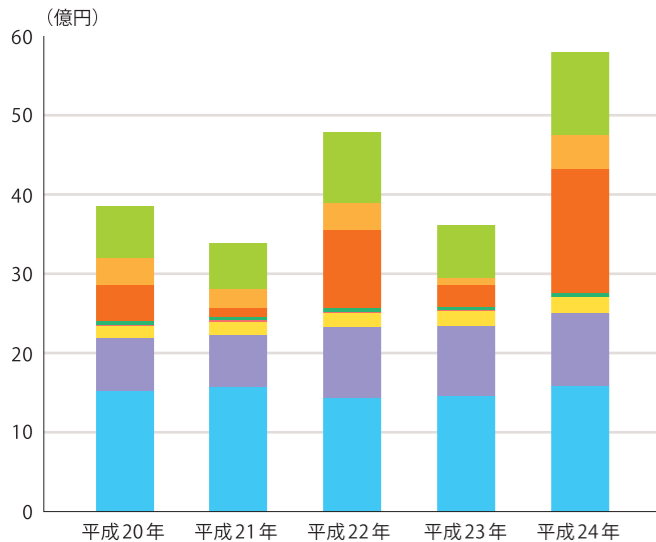
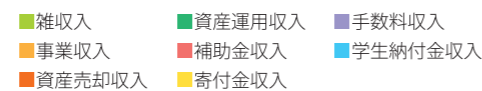
【資金収支(支出)推移】



【資金収支(支出)内訳推移】



【資金収支(収入)内訳推移】



平成22年度と平成24年度に施設関係支出が増額したのは、平成22年度に六甲キャンパス校地校舎を取得し、平成24年度に80周年記念館(6号館)を建築したことによる。

平成25年3月19日の理事会及び評議員会において平成25年度事業計画が決定され、またそれに基づいた平成25年度予算が承認されましたので、資金収支予算書及び消費収支予算書の総括表を示し、その概略を説明させていただきます。

1. 資金収支予算(表1)

1. 資金収入
 - (1) 学生納付金収入については、学部学生は入学定員270名、授業料は、新入生と2~4年次生は前年度と同額の1.8百万円、5~6年次生は1.7百万円とし、入学金は前年度と同額の0.4百万円とした結果、大学院生分等も含め、前年度比37百万円増の3,231百万円を計上しました。
 - (2) 手数料については、学部入学検定料が入学志願者数の増加を見込み、その他の手数料と合わせ、81百万円を計上しました。
 - (3) 寄付金収入については、一般寄付としての同窓会及び結核育友会からのご寄付の他、企業等からの奨学寄付の申込みを見込み、前年度と同額の25百万円を計上しました。
 - (4) 補助金収入については、経常費国庫補助金や私立大学戦略的研究基盤形成支援事業・学術研究振興資金の補助金他を見込み、332百万円を計上しました。
 - (5) 資産運用収入については、低金利の金融環境下、期中運用利回りを年1.0%程度と想定した結果、前年度比20百万円減の81百万円を計上しました。
 - (6) 事業収入については、補助活動収入(寮費収入等)と企業等からの受託事業収入を合わせ37百万円を計上しました。
 - (7) 雑収入は、私立大学退職金財団交付金他で、138百万円を計上しました。
 - (8) 前受金収入は、学部入学定員270人を前提に平成26年度入学手続分他として391百万円を計上しました。
 - (9) その他資金関係では、退職給与引当資金からの取崩を含め、その他の収入として135百万円を計上しました。
2. 資金支出
 - (1) 人件費支出については、教育職員と事務職員に例年通り若干の補充枠を見込み、非常勤教員等の給与や定年退職者の退職金等を合わせ、1,762百万円を計上しました。

- (2) 教育研究費支出については、経常経費の節減に努めるが、長期実務実習・共用試験関係費や私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係費などを見込み、前年度比7百万円増の1,097百万円を計上しました。
 - (3) 管理経費支出についても、経常経費の節減に努め、また前年度計上した創立80周年記念事業関係費がなくなり、前年度比31百万円減の249百万円を計上しました。
 - (4) 借入金利息支出については、日本私立学校振興・共済事業団の借入金利息として5百万円を、また、借入金返済支出については、同事業団への約定返済を中心に47百万円をそれぞれ計上しました。
 - (5) 施設関係支出については、正門改修工事、岡本寮トイレ・洗面台改修工事他で、合計102百万円を計上しました。
 - (6) 設備関係支出については、コンピュータ演習室PC更新、11号館太陽光発電設備設置、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係機器や研究設備等充実委員会選定機器の購入、その他で合計307百万円を計上しました。
 - (7) 資産運用支出については、減価償却引当資金180百万円や、第2号基本金引当資金のうち教育環境整備引当資金・大型機器充実引当資金・施設設備整備引当資金の計260百万円他を積立を行うこととし、合計450百万円を計上しました。
3. 次年度繰越支払資金
- 以上の収支の他、資金調整勘定等の差引を加味した次年度繰越支払資金は780百万円と、前受金391百万円を上回り、資金収支予算上の安全性は確保されています。

II. 消費収支予算(表2)

消費収支については、資金収支の内容を基に、帰属収入3,924百万円から590百万円を基本金へ控除組入れし、支出には減価償却費を加算した結果、当年度の収支は263百万円の支出超過となり、これにより最終的な翌年度への繰越消費支出超過額が310百万円となるため、予算執行に際しては、改めて支出の見直しの強化などにより経費節減を進め、引き続き収支改善に努力していく所存でありますので、なにとぞよろしくご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

(表1) 資金収支予算書総括表 [平成25年4月1日から平成26年3月31日まで]

支出の部				支出の部			
科目	平成25年度予算	平成24年度予算	差異	科目	平成25年度予算	平成24年度予算	差異
人件費支出	1,761,900	1,749,300	12,600	学生納付金収入	3,230,900	3,194,400	36,500
教育研究経費支出	1,097,200	1,090,100	7,100	手数料収入	81,000	72,600	8,400
管理経費支出	248,900	279,700	△ 30,800	寄付金収入	25,000	25,000	0
借入金利息支出	4,600	6,800	△ 2,200	補助金収入	331,600	334,900	△ 3,300
借入金返済支出	47,300	47,300	0	経常費国庫補助金収入	280,000	240,000	40,000
施設関係支出	101,700	1,695,000	△ 1,593,300	その他国庫補助金収入	46,500	89,800	△ 43,300
設備関係支出	307,400	329,200	△ 21,800	地方公共団体等補助金収入	100	100	0
資産運用支出	450,000	494,000	△ 44,000	学術研究振興資金補助金収入	5,000	5,000	0
〔予備費〕	20,000	20,000	0	資産運用収入	81,300	101,300	△ 20,000
その他の支出	96,000	86,000	10,000	事業収入	36,500	31,500	5,000
資金支出調整勘定	△ 94,500	△ 93,500	△ 1,000	雑収入	138,000	125,000	13,000
支出計	4,040,500	5,703,900	△ 1,663,400	前受金収入	390,500	390,500	0
次年度繰越支払資金	780,300	428,880	351,420	その他の収入	134,500	1,697,000	△ 1,562,500
支出の部合計	4,820,800	6,132,780	△ 1,311,980	資金収入調整勘定	△ 503,500	△ 489,500	△ 14,000
				収入計	3,924,800	5,482,700	△ 1,536,900
				前年度繰越支払資金	875,000	650,080	224,920
				収入の部合計	4,820,800	6,132,780	△ 1,311,980

(表2) 消費収支予算書総括表 [平成25年4月1日から平成26年3月31日まで]

支出の部				支出の部			
科目	平成25年度予算	平成24年度予算	差異	科目	平成25年度予算	平成24年度予算	差異
人件費	1,715,900	1,700,300	15,600	学生納付金	3,230,900	3,194,400	36,500
教育研究経費	1,547,200	1,499,100	48,100	手数料	81,000	72,600	8,400
管理経費	309,900	341,700	△ 31,800	寄付金	25,000	25,000	0
借入金利息	4,600	6,800	△ 2,200	補助金	331,600	334,900	△ 3,300
〔予備費〕	20,000	20,000	0	経常費国庫補助金	280,000	240,000	40,000
				その他国庫補助金	46,500	89,800	△ 43,300
				地方公共団体等補助金	100	100	0
				学術研究振興資金補助金	5,000	5,000	0
				資産運用収入	81,300	101,300	△ 20,000
				事業収入	36,500	31,500	5,000
				雑収入	138,000	125,000	13,000
				帰属収入合計	3,924,300	3,884,700	39,600
消費支出の部合計	3,597,600	3,567,900	29,700	基本金組入額合計	△ 590,000	△ 1,035,200	445,200
当年度消費支出超過額	263,300	718,400		消費収入の部合計	3,334,300	2,849,500	484,800
前年度繰越消費収入超過額	—	671,800					
前年度繰越消費支出超過額	46,600	—					
翌年度繰越消費支出超過額	309,900	46,600					

在学学生も卒業生も、薬剤師を徹底サポート

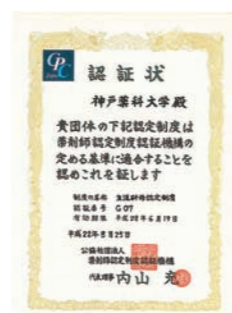
「薬剤師」を鍛える

生涯学習支援が充実 エクステンションセンター

生涯研修プロバイダー」として認証(G07)

西日本の薬系大学では初めての認証

本学は2007年6月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構から、「生涯研修プロバイダー」の認証を受けました。現在では全国で19団体が認証を受けています。本学ではこれまでに、延べ600名を超える方に認定証を発行しています。



認証状



認定薬剤師証

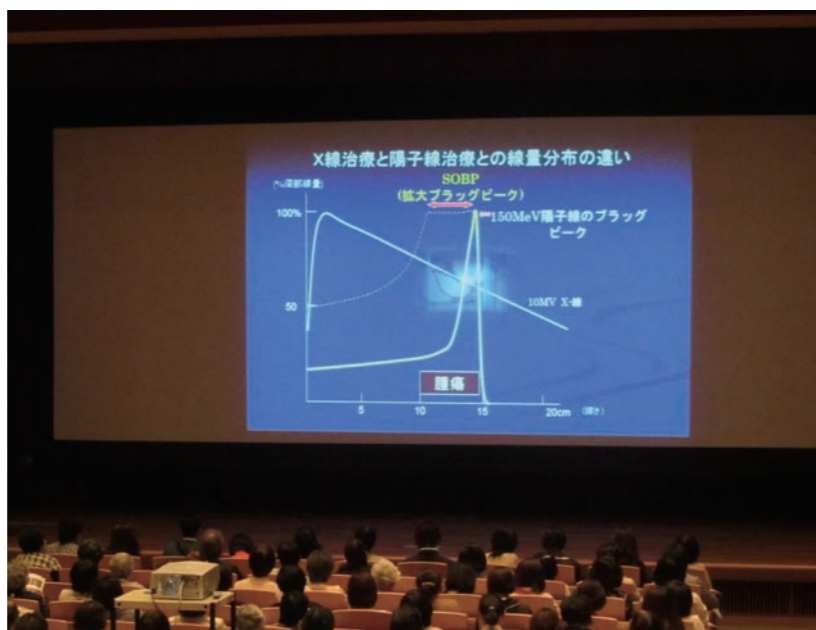
薬剤師のスキル向上支援の場

「卒後研修講座」は来年度で40回を迎えます

薬剤師は、医療の高度化や医薬分業の進展など、日進月歩で発展する医療分野において、質が高く安心・安全な医療の提供を求められています。そのため、これら最前線の知識や技術を生涯にわたり学び続ける必要があります。最新の医療や医学を学べる場を提供するため、本学では1975年から「卒後研修講座(CPD)」を開講しています。本学の卒後研修講座は全国屈指の伝統・実績と規模を誇り、最先端の医学・薬学の知識および情報を総合的に修得できる学術内容の濃いユニークな研修講座です。毎回メインテーマを設定し、総論・各論として6コマを構成。これに薬剤師職能に関係する、最新のトピックス3コマを加えています(全9コマ)。講師陣は全国的視野に立って、斯界の第一線で活躍されている研究者や臨床家を選定しています。毎回受講者から極めて好評で、高い評価を得ています。

本学で実施している研修講座は上記の「卒後研修講座」の他に「リカレントセミナー」「健康食品講座」「薬剤師実践塾」「シンポジウム」があります。すべて公開講座として実施していますので、卒業生だけでなく他大学出身の薬剤師や、医療従事者なども多く受講しています。また、開かれた大学として地域社会に貢献できるよう、一般市民の方を対象に、薬や健康に関する身近で関心の高いテーマを取り上げた「公開市民講座」も実施しています。さらに、2012年度からは今注目されている「在宅医療」を支援する指導薬剤師養成プログラムを他大学に先駆けて実施しています。

第39回卒後研修講座についてはP.11「神薬ごよみ Event Report」でお伝えしています。



第39回卒後研修講座

NOTICE

『「在宅医療」を支援する指導薬剤師養成プログラム』を実施中

2012年度より新たに薬局薬剤師を対象に、専門的知識や技術を学び、薬物治療のリスクマネージャーとしての実践力を備えた共有プログラムとして、「在宅医療」を支援する指導薬剤師養成コースを企画しました。このプログラムは、受講者が医療現場に赴き、多職種と連携しながら実習を実施し、スキルアップを図るという内容です。

間もなく、薬学教育課程の中にも「在宅医療」は取り入れられます。本プログラムはこれらの指導者養成を先取りした内容となっています。

HYOUSHI TANBOU

表紙探訪

神戸薬科大学図書館

学習環境を整備した レトロな図書館

1968年に竣工した1号館に神戸薬科大学図書館はある。利用しやすい図書館を目指して学習環境を整えたり、図書館ニュース『Bellflower』を発行したりするなど、積極的な活動が行われている。

海外の『薬局方』『医薬品集』 コレクションが充実

薬科大学らしい蔵書といえば、医薬品の規格基準書『薬局方』がある。本図書館は『日本薬局方』はもちろん海外の薬局方が充実しており、医薬品集と併せて、いつでも利用できるよう3階閲覧室に配架している。海外の薬局方については、『国際薬局方』『ヨーロッパ薬局方』はもちろん、米・英などの欧米各国のほか、他大学ではめずらしい中国の薬局方のバックナンバーもそろっており、他の教育・研究機関からの利用者も多い。



落ち着いた雰囲気のリトロな内装



表紙モデルの学生たち



自習室

概要

- ◆蔵書数……………約107,000冊
- ◆主な設備……………閲覧室、自習室、AVブース、視聴覚室 ほか

お知らせ

学生支援センター 学生就職課より

忙しい薬学部生。5年生の冬は超多忙!

学生の就職活動は5年生の12月から本格的にスタートします。5年生からは、長期実務実習(病院・薬局実習)、卒業研究、国家試験対策も始まるため、就活は、これらを両立させながら行います。

また、5年生の第Ⅲ期・Ⅳ期(2014年1月~3月)は、就活の初期と重なるため、実習の合間を縫ってエントリーシートを作成したり、合同説明会に参加したりします。学生一人ひとりが、学業と就活それぞれのスケジュールを考えながら取り組む、多忙な毎日が始まります。

学生には1年生から、就職に向けたさまざまなイベントを開催し、意識付けを図っています。また、保護者の皆様には、学生とのかかわり方を考える保護者向けの説明会を開催しています。医薬業界の就職事情や就職活動についてご理解いただき、本学とともに強力なバックアップ体制を築いていきます。

保護者のための就職ガイダンス

2013年11月9日(土) ▶ ききょう記念ホール

10:00 ~ 桔梗育友会総会・保護者懇談会
14:00 ~ 保護者のための就職ガイダンス

2013年11月17日(日) ▶ 地方保護者懇談会(高松・広島・福岡)

主体的な進路選択を応援するキャリアガイダンスの開催

進路選択を主体的にとらえ、ポジティブなキャリアデザインを描くため、全学年対象のガイダンスを開催しています。ガイダンスによって、適正な職業観・人生観を涵養し、自己理解を深め、目指す職業に対する意欲や具体的なイメージが持てるようになることが目的です。

開催スケジュール

- 第1回 2013年6/8(土)「各業界の動向と職種の説明」
- 第2回 2013年10/26(土)「社会人基礎力とコミュニケーション力」
- 第3回 2013年11/16(土)「6年次生内定者懇談会」
- 第4回 2014年3/20(木)『社会人+就職』準備セミナー
~就活を始めるにあたって・実習前の諸注意~

キャリアガイダンス



8月に開催した「就職ガイダンス」の報告はP.11をご覧ください。

KOBE VIEW

～キャンパスから眺める神戸～



みなとこうべ海上花火大会

2013年8月3日

神戸薬科大学11号館から神戸港を望む